

郵政民営化委員会（第270回）議事要旨

日 時：令和6年1月23日（火）13:30～15:30

場 所：郵政民営化委員会室（永田町合同庁舎3階）及びオンライン

出席者：山内委員長、関口委員長代理、青野委員、佐藤委員、関委員
（敬称略）

金融庁 大来企画市場局信用制度参事官、野崎監督局参事官、
澤飯監督局郵便貯金・保険監督総括参事官

総務省 玉田郵政行政部長、三島企画課長、折笠郵便課長、芥貯金保険室長、
相良企画課貯金保険室課長補佐

国土交通省 鈴木物流・自動車局物流政策課国際物流室長

経済産業省 大西商務・サービスグループ消費・流通政策課物流企画室室長補佐

1. 議事

- ・ 郵政民営化法施行令の一部改正について
- ・ 総合的な検証に係る省庁ヒアリング
- ・ 意見書の構成イメージについて

2. 委員会での説明・意見等

○ 郵政民営化法施行令の一部改正について【資料270-1-1～3】

- ① 資料に基づき、金融庁及び総務省より説明。
- ② 審議の結果、本改正案については、令和3年5月に公布された「公的給付の支給等の迅速かつ確実な実施のための預貯金口座の登録等に関する法律」等の施行を踏まえて、所要の規定を整備するものであり、特段問題はないことから、委員会に示された内容のとおり政令を改正することが適当である旨の意見を取りまとめ、金融庁長官及び総務大臣に提出することとなった。

○ 総合的な検証に係る省庁ヒアリング【資料270-2～5】

- ① 資料に基づき、総務省、金融庁、国土交通省及び経済産業省より説明。
- ② 委員からの意見等
 - ・ 郵便料金の値上げについて、社会的な反響はどうか。
（⇒（総務省）パブリックコメントを昨日まで実施し、約150件程度の意見が出された。サービス維持の為に郵便料金の値上げはやむを得ないという意見と、土曜休配等サービスも下がっている中で値上げ反対と、両方の意見があるが、具体的には、これから中身を精査していきたい。）
 - ・ かんぽ生命の不適正募集問題について、現在は組織風土の改善はできたのか。金融庁の受け止めはどうか。
（⇒（金融庁）かんぽ生命自身が組織風土を不適正募集問題の原因の1つに挙げており、改善策を提出している。他の生保より規模が大きく、郵便局という代理店を使う形になっているので、改善策が組織の末端社員まで徹底されているか、金融庁としても注視していきたい。）
 - ・ 積載効率向上のために、タクシーの配車アプリのような荷主と物流事業者のマッチングが可能なデータベースのようなシステムを、国交省と経産省が連携して開発することは考えられないか。
（⇒（経済産業省）やるべき課題と認識している。現状、議論は始まっているが国主導の動きは具体化には至っておらず、民間システム活用の方が進んでいる状態。物流企画室における今般の補正予算措置はシステム導入にも適用可能なので、事業者に使っていただき経験を蓄積し、共通化につなげたい。）
（⇒（国土交通省）SIP（Strategic Innovation Promotion Program）のS

マート物流では、各社の持つシステムを変換して一つにまとめることで、異業種間でも共同配送できるところまでシステムのコンセプトは出来ている。今後は、それをいかに具体化していくかが重要と認識している。）

- 意見書の構成イメージについて【資料270-6】
資料に基づき、事務局から概要を説明。

－以上－

注) 議事要旨は事後修正の可能性があることに御留意ください。また、詳細については追って公表される議事録を御覧ください。